

加茂市



議会だより

—平成28年6月定例会他—

第193号

平成28年7月31日

編集発行 加茂市議会
〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

TEL 0256-52-0080 (代表)

FAX 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

gikajimu@city.kamo.niigata.jp



〈主な内容〉

一般会計補正予算を可決……(2)

議案審議結果、議員賛否の状況……(3)

7人が一般質問に登壇……(4)

委員会の審査から……(6)

特別豪雪地帯協議会総会……(7)

星に願いを、七夕かざり。
みんなの思いがあふれています。

7月7日 下条小学校1年生と、地域住民による七夕かざり。公民館下条分館の事業として、今年で7年目を迎えました。

一般会計補正予算を可決

地方創生推進事業費

五千六百六十五万円など

6月定例会

六月定例会市議会は、二十一日から七月一日まで、会期十一日間が開かれました。

この定例会では、一般会計補正予算など市長提出議案五件を慎重に審議の結果、全て承認、原案可決しました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとおりです。

補正予算

一般会計補正予算は、三号補正で、

二千八百一十六万円を増額するもので、歳出の主な内容は、戸籍住民基本台帳費六百八十五万六千円などを増額するものです。

これに充てる財源は、国庫支出金六百八十五万六千円などを増額して措置するものです。

四号補正は、五千六百六十五万円を増額するもので、歳出の主な内容は、地方創生推進事業費五千六百六十五万円を増額するものです。

これに充てる財源は、国庫支出金二千八百三十二万五千円及び繰越金二千八百三十二万五千円を増額して措置するものです。

この結果、予算の総額は百三十四億五千五百六十六万六千円となりました。

債務負担行為の補正については、平成二十九年度に若宮中学校に身体の障害のある生徒が入学するので、当校にエレベーターを設置することとし、その費用について、その期間及び限度額を定めたものです。期間を、平

平成二十七年度の決算見込みで歳入が歳出に不足することから、平成二十八年度の歳入を繰り上げてこれに充てることとするために、五月三十一日付で専決処分したものです。

歳出の内容は、前年度繰上充用金二億七千八百八十八万八千円で、これに充てる財源として、普通調整交付金二億七千八百八十八万八千円を増額して措置した

この結果、予算の総額は三十七億二千八百九万六千円となりました。

5月臨時会

五月二十四日に臨時市議会が開かれ、市長提出の議案五件を承認、原案可決しました。

そのうち、

一般会計補正予算は、二号補正で、中学校冷暖房空調機設置工事

6月21日	本会議・全員協議会
23日	本会議
24日	連合審査会
27日	産業建設常任委員会
28日	社会厚生常任委員会
29日	総務文教常任委員会
7月1日	本会議

定例会日程

専決処分

国民健康保険特別会計補正予算は、

人事

定例会最終日の本会議で、人権擁護委員候補者に、坪谷正良氏(狭口、63歳)を推薦することに同意しました。



について債務負担行為を設定し、その期間及び限度額を定めたものです。期間を、平成二十八年度から平成二十九年度まで、限度額を、三億五千四百九万円と定めたものです。



6月定例会本会議最終日、起立による採決

5月臨時会 議案審議結果

議案番号	件名	結果
市長提出議案		
42	専決処分の承認（市税条例等の一部改正）	承認
43	専決処分の承認（都市計画税条例の一部改正）	承認
44	専決処分の承認（国民健康保険税条例の一部改正）	承認
45	専決処分の承認（行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部改正）	承認
46	28年度一般会計補正予算（第2号）	原案可決

6月定例会 議案審議結果

議案番号	件名	結果
市長提出議案		
47	専決処分の承認（28年度国民健康保険特別会計補正予算第1号）	承認
48	28年度一般会計補正予算（第3号）	原案可決
49	28年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
50	人権擁護委員候補者の推薦（坪谷正良氏）	同意
51	28年度一般会計補正予算（第4号）	原案可決

議員賛否の状況 議案審議結果の賛否が分かれた議案（網かけ部分）について、賛否を公表します。

議案番号等	採決の種類	結果	賛成	反対	棄権	大志の会					市政クラブ				市民クラブ			YO1998	公明党				
						藤田 明美	佐藤 俊夫	浅野 一明	滝沢 茂秋	保坂 裕一	森山 一理	白川 克広	山田 義栄	安田 憲喜	茂岡 明与司	樋口 博務	中野 元栄	樋口 浩二	関 龍雄	大平 一貴	安武 秀敏	三沢 嘉男	
5月臨時会																							
46	補正予算	起立	可決	10	5	0	○	○	●	●	○	○	○	—	○	○	●	○	○	欠席	●	●	○
6月定例会																							
51	補正予算	起立	可決	11	4	0	○	○	○	○	○	○	●	—	○	○	●	○	○	欠席	●	●	○

※○は賛成、●は反対、山田義栄議長は採決に加わらない。
 ※採決の種類：起立は起立採決

選挙に関する諸問題について

YO1998 安武秀敏 議員

質問 ① 選挙に関する諸問題について

- ・高校などへの出前授業などしないのか。
- ・複数の期日前投票所が必要ではないか。
- ・共通投票所も複数設置してはどうか。
- ・立会人に高校生や大学生になってもらうてはどうか。
- ・投票時間を繰り上げてはどうか。
- ・昨年の市長、市議選挙、選挙運動費用の一部公費負担の県内状況及び市内の選挙収支状況はどうか。
- ② 市長は、泉田県知事をいかが評価し、四選目の支援をいかが考えるか。

答弁 ① 十八歳の高校生に

市政の内容を聞く

一般質問

六月定例会では初日から七人の議員が

一般質問を行い市政

全般についての所見や

執行状況を問いたただきました。その要点をお知らせします。



6月定例本会議

立派な主権者として選挙権を与えたのだから、これを教育するというのは失礼である。

- ・複数の期日前投票所には、情報漏えい防止の対策や人員増の経費などがあり、実施は厳しい。
- ・共通投票所についても同じ問題があり、慎重な検討が必要。
- ・立会人については、投票区内に住所が必要など、一定の要件がある。選挙管理委員会が適正に選任してもらうべきと考える。

加茂市が所有する山林の実態と利活用方策について

市政クラブ 白川克広 議員

質問 ① 加茂市が所有する山林の実態と利活用方策について。加茂市が所有する山林の所在地、面積はどうなっているか。また、所有林の中で最大の西山地区の山林の、今後の利活用方策と保守管理方策の方針はどうか。

- ・夜八時まで投票に来られる方がいる。お一人でも来られる限り、開けておく必要がある。
- ・選挙の公費負担制度は、各市町村で取り扱いに違いがあり、全く公費負担していない市もある。昨年の市長、市議選の候補者の収支であるが、選挙管理委員会でお聞きいただきたい。
- ② これまでの県政に四選を否定するような失政はない。厳しい財政状況だが、県民をさらに幸せにしてくれることを望む。

② 黒水地内における市道の整備について。市道丸山線、市道丸山線2号、市道黒水、西山線、市道黒水・土倉線について伺う。

③ 水防対策の徹底について。七谷地区にある九本の河川は、極めて危険な河川である。市は河川の実態をどのように把握しているのか、改修・整備方針はどのようなか。

災害対策に関する事柄について

大志の会 滝沢茂秋 議員

質問 ① 災害対策に関する事柄について

- ・緊急避難場所、陸上競技場など、屋外十五箇所が指定されているとのことだが、市民に周知すべきではないか。
- ・避難所となる学校施設の、天井や窓などの非構造部材の安全性を点検し、耐震化工事をすべきではないか。

② 放課後児童健全育成事業について

- ・現在、四年生以上の利用者はいるのか。
- ・現状、加茂市では、開館日が年間二百四十日である。土曜日の開館と夏休み開館の増加を求める。

答弁 ① ・お知らせ版では、逐一列記はしていないが、「公園やグラウンド等も一時的な避難

詳しくは会議録で
六月定例会の会議録は、九月上旬に発行予定です。図書館、勤労青少年ホーム、かも川荘、ゆきつばき荘、各コミュニティセンターでごらんください。

なお、行政視察報告についても、会議録と同じ場所でごらんください。

また、視察報告は、市議会ホームページでもごらんになれます。

場所として有効です。」と記載している。明記しなければ誰も来ないというものではない。非構造部材の耐震化として全てクリアするには、多大な経費がかかる。それでも、大きな被害が想定される条件に該当する、加茂小、下条小、石川小の体育館については、天井と照明の耐震化を先に行いたい。

② ・今年度の四月から、児童館の対象児童は、一年生から三年生までを原則としつつ、特別の事情があると認められた場合はこの限りではないとしている。現在、四年生以上では二名を受け入れている。土曜日の開館は、安全対策の問題があり、責任ある市長としては、土曜開館はできない。また、夏休みの休館も今では、八月十二日から十六日のお盆休みだけである。

市内小中学校の空調機設置と耐震化工事の見通しについて

大志の会 浅野一明 議員

質問 ① 空調機設置と耐震化工事の見通しについて。空調機設置と耐震化工事の優先関係について市長の見解は。・耐震診断だけでなく進め、順番を検討することは可能ではないか。見解を問う。

② 鳥獣対策と森林保全について。・熊対策に森林整備を加えてはどうか。・森林整備を、今後どのように進める方針か。

答弁 ① ・耐震化工事は、一棟実施するのに億単位の工事費がかかる。また、文部科学省の補助金額も、年度によって相当違ってくる。その見極めも必要である。今後、小中学校八校の耐震化が終了するのを待って、冷房化するか、先に行ってしまうかである。近年の猛暑対策を優先した。どの順番で耐震化を進めるべきかの検討材料としては、平成十九年度に実施した「耐震化優先度調査」がある。その結果から、なるべく加茂市の持ち出しが少なく済む年度を見極めながら進めていくのがよいと考える。

② 熊対策として加茂市においては、何といたっても加茂市猟友会クマ会の皆様の協力のもと、危険な熊は駆除することとし、これまで

副市長について

YO1998 大平一貴 議員

どおり銃器及びびびでの捕獲等により、民家から遠ざけることが最良の対策と考える。・加茂市には、森林整備のプロフェッショナル集

団である南蒲原森林組合がある。この組合を最大限支援することともに林道事業を進めることで森林整備を進めていく。

質問 ① 副市長について

・六月一日の報道で、斉藤副市長が退任したことを知った。体調不良で辞表を出したとの報道だが、いつ辞表が出たのか。斉藤副市長の場合は、なぜ長期間休むことになったのか伺う。

② 「広報かも」について

・広報かもが予定どおり発行されていない。仕事に支障を来すならば、教養講座、武道の指導、神職を控えてはどうか。

・広報かもは市長の政治的主張が多すぎ、市の行事が後回しになっている。市長の主張は政治活動として行うべきである。

辞表を提出したということはない。しっかりと勤務しながら、検査の数値がよくなるのを待たず、去る五月下旬にも検査の数値が好転せず、療養に専念したとの意志を表明したため、退職に同意したものである。

② ・広報かも記載内容は、現実に起こった月から原則として二か月遅れで皆様のところに届く。問題は号数の付け方で、発行した月を号数とするか、内容の出来事が起こった月を号数とするかである。私の方針は後者である。・市長が市長の考えを市政報告に書くこともある。市民が市長の考えを十分に知り、その上で、市民お一人お一人がご自分の考えを、お決めになることになる。

教育による「地方創生」について

大志の会 保坂裕一 議員

質問 ① ・加茂市の児童、生徒数は、過去十年、二十年前と比較するとどうか。

・全国学力テストの結果は、全国レベルでどの程度なのか。

・学校では、郷土への愛着、誇りに関する学習をどのように教え

ているのか。

・子供たちへのネットへの指導、注意をどのように行っているか。

・加茂市の子供たちの携帯電話、スマートフォン所持率調査を実施しているか。

・子供議会の検討を提案する。

福祉避難所と母子避難所について

大志の会 藤田明美 議員

質問 ① 福祉避難所と母子避難所について。・特別な配慮を必要とする方々のための避難所や、乳幼児とその家族、妊婦さんなど、一般とは違うニーズを必要とする母子避難所の必要性について、どのように考えるか。また、その指定や運営方法を考える予定はあるか。

② 乳児健診におけるブックスタートについて。・乳児健診の時などに、絵本をプレゼントするブックスタート事業。新潟県内では、八割の市町村で実施している。加茂市でもぜひ実施してほしい。

答弁 ① ・加茂市では、通常の避難所では対応できない介護を要する高齢者等について、平成園、第二平成園、第三平成園で定員各三名として、福祉避難

所の指定を行っている。実際の対応として、中越地震、七・二九豪雨、東日本大震災の際に、要配慮者の方の受け入れを行った。母子避難所としては、紙おむつ等、特別に必要な品物を、必要に応じて配付する方法で行い、仕切られた授乳のための場所や、母子優先の個室などを設けることとしている。

② ・加茂市でもブックスタート事業の考え方が日本に入ってきて間もなく、議会でもいろいろ議論をした。子どもに対する絵本の果たす役割の重要性は認識しているが、やはり、それは、親から行うからこそ価値があり、親が自分で絵本を選ぶことに意味があるものと考えている。



委員会の審査から

各常任委員会に付託された議案は、6月27日から6月29日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案は全て原案可決すべきものと決まり、最終日の本会議へ報告されました。



議案審査中の産業建設常任委員会



議案審査中の総務文教常任委員会



医療問題特別委員会の行政視察(県央医師会応急診療所)

産業建設常任委員会

六月二十七日に委員会を開催し、一般会計補正予算の付託された議案二件について、説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

六月二十八日に委員会を開催

し、一般会計補正予算の付託された議案一件について、説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。



総務文教常任委員会

六月二十九日に委員会を開催し、一般会計補正予算の付託された議案二件について、説明を受け慎重に審査を行いました。

三号については、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。
また、四号については、質疑、討論がなされ、起立採決の結果、原案可決すべきものと決定しました。

議会改革特別委員会

五月二十四日、七月二十五日に特別委員会を開催し、議会改革の検討事項について、意見を交わしました。

医療問題特別委員会

五月十三日に県央医師会応急診療所の概要と現状について行政視察を行いました。
七月二十六から二十七日に鹿行南部地域休日夜間初期救急センターの設立の経緯、構成市との関わりについて行政視察を行いました。

特別豪雪地帯 協議会総会開く

平成二十八年年度新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会総会が、五月三十日、加茂市が開催市となり、田上町のホテル小柳で開催されました。

この会は、特別豪雪地帯の指定を受けた市町村が緊密に連携し、雪によって生ずる諸問題の解決推進を図ることを目的としています。

会員市町村は県内十八市町村で、この日は、十六市町村の議長、事務局長らが出席し、議案四件を全会一致で可決しました。

この会で可決した、平成二十八年度豪雪地帯対策要望書を、会長の加茂市議会議長と副会長の柏崎市議会議長が、金谷国彦県議の同席のもと、七月二十日県に提出しました。

八月三日には、平成二十九年年度の国家予算編成に対する要望活動として、同正副会長が上京する予定です。



新潟県特別豪雪地帯市町村議会協議会総会

請願・陳情を 提出されたい方へ

市民の皆さんは、市の仕事に対して意見や要望を市政に反映させるため、いつでも請願や陳情を市議会議長宛てに提出することができます。ただし、議会日程との関係から、定例会7日前に開かれる議会運営委員会の前日(土・日に当たるときは金曜日)午後5時までに受け付けたものを、その定例会で請願は審議し、陳情については参考配付することとしています。なお、請願を提出する場合は、紹介議員が必要(3名以内)ですが、陳情の場合は、必要ありません。

※例 (表紙)

〇〇〇に関する請願	
紹介議員	〇〇〇〇(印)
	〇〇〇〇(印)
	〇〇〇〇(印)

(本文)

〇〇〇に関する請願	
1. 要旨
2. 理由

平成 年 月 日	
	住所
	氏名
加茂市議会議長 様	(印)

9 月 定例会

傍聴してみませんか

加茂市を明るく住みよいまちにしていくため、議会の活動状況を知り、市政の内容を理解することは、大切なことです。

市議会は、誰でも傍聴できます。

皆さんが選んだ議員が皆さんの声を市政に反映する場が議会であり、市民にもっとも身近な

審議機関です。

市議会は、毎年三月、六月、九月、十二月に定例会が開かれ、定例会では、市政全般について一般質問も行われます。

このほか、必要により特定の案件を審議する臨時会が開かれます。

次の定例会は、九月ですが、

傍聴されるときは、受付簿に氏名などを記入していただくだけで入場できますので、お気軽に傍聴にお出かけください。

傍聴席は、一般席40、車いす席4、記者席8の合計52席となっています。

議員表彰

全国市議会議長会から永年在職議員として表彰された、次の方々の表彰状伝達式が、定例会初日の開議に先立って行われました。

【特別表彰】

◎議員在職二十五年以上

- 樋口 博務 議員
- 安武 秀敏 議員



連合審査会

六月二十四日に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案三件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

五月二十四日に月例全員協議会を開催し、事務に関する説明書の質疑を行いました。

七月二十五日に月例全員協議会を開催し、病児保育施設の整備について説明を受け、質疑を行った後、事務に関する説明書

の質疑を行いました。

議会日誌

〈5月〉

- 13日 医療問題特別委員会 行政視察(三条)
- 18日 議会運営委員会 臨時市議会
- 24日 月例全員協議会 政務活動費決算審査会 議会改革特別委員会

〈7月〉

- 1日 定例会議会
- 11日 県央基幹病院設置に係る道路等環境整備促進期成同盟会県要望
- 20日 特別豪雪地帯市町村議会 協議会県要望
- 25日 月例全員協議会 議会だより編集委員会
- 30日 特別豪雪地帯市町村議会 協議会監事会・理事会・総会(加茂)
- 31日 全国議長会定期総会(東京)
- 14日 議会運営委員会
- 21~29日 定例会議会
- 1日 定例会議会
- 11日 県央基幹病院設置に係る道路等環境整備促進期成同盟会県要望
- 20日 特別豪雪地帯市町村議会 協議会県要望
- 25日 月例全員協議会 議会だより編集委員会
- 26~27日 医療問題特別委員会 行政視察(神栖) [視察事項]
 - ・鹿行南部地域休日夜間初期救急センター設立の経緯
 - ・構成市との関わり



表彰状を受ける樋口議員



表彰状を受ける安武議員

議会だより編集委員

任期満了により、各常任委員会から次の者が、議会だより編集委員に選出されました。

- 委員長 山田 義栄
- 副委員長 森山 一理
- 委員 三沢 嘉男
- 委員 大平 一貴
- 委員 浅野 一明
- 委員 安田 憲喜
- 委員 茂岡明与司
- 委員 安武 秀敏



議案審査中の連合審査会

次の定例会は

9月21日(水)から開催の

予定です。